

# 出家

エンターテインメント小説とは極北に位置する本作品。  
しかし、読み返すたび、新たな感動を呼び起こすこと必定。  
医師として数多くの専門書を執筆してきた著者が、  
一世一代の思いで書き下ろした、純文学長編小説です。

●敗戦後、郷里の滋賀で代用教員となった主人公、木津林太郎。

戦後の混乱で、死の淵に陥った自分を救ってくれた僧侶の言葉を思い返し、一発念起して、三重で医師となった。  
 しかし林太郎の行く手には、いくつもの壁が立ち塞がっていた。  
 愛は人を救うのか？ 生きる目的とは何か？ 人生にいかなる意味があるのか？  
 人生の根源的な問いに、林太郎は命がけで一つ一つ答えを見つけ出していく。  
 日々の生きにくさに懊悩しつつ、それでも前を向いて歩む林太郎。  
 人生行路に立ち迷うすべての人に捧げる、純文学書き下ろし長編小説である。

【担当編集長より】

処女小説とは全く思えない緻密な構成、奥行きある人物表現、圧巻のドラマツルギー……。どれをとっても、第一級の腕前に驚かされます。

しかし特徴はそこではありません。著者の分身ともいえる木津林太郎と、その妻の千代、そして息子・優を軸にした人間模様のなかで、愛、自由、生きることと死ぬことの意味など、人間の実存を極限まであぶり出します。

近年にない究極の純文学作品を、どうぞ心ゆくまでご堪能ください。



## 著者紹介

### 中島 健二(なかじま・けんじ)

1939年東京生まれ。京都府立医科大学名誉教授、ウェスタン・オンタリオ大学(カナダ)客員教授、医療法人社団恵寿会まるおクリニック認知症研究所長。特定非営利活動法人「京都の医療・福祉プロジェクト」理事長。

京都府立医科大学卒業・同大学院精神科修了。医学博士。東京通信病院脳神経外科医員、秋田県立脳血管研究センター脳神経外科主任研究員・神経内科主任研究員(医長)を経て、同センター病院長。京都府立医科大学神経内科教授、国立舞鶴病院病院長を歴任。瑞宝中綬章受章。

『痴呆症 基礎と臨床の最前線』(金芳堂)、『この日本で老いる』(世界思想社)、『家族のための〈認知症〉入門』(PHP新書)、『希望の介護 認知症を考える「中島塾」によるこそ』(書肆クラルテ)など著書多数。

貴店印・帳合    ご担当 様	ご注文数    冊	<div style="text-align: center;"> <h1>出家</h1> <p>中島 健二/著</p> <p>定価：1,760円(10%税込)</p> <p>ISBN978-4-909417-79-4</p> <p>発売日：2021年4月10日</p> </div> <div style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">                 四六判上製/312頁             </div> <p>PHPエディターズ・グループ</p>
-----------------------------	-----------------------	---

発行 | PHPエディターズ・グループ

〒135-0061  
 東京都江東区豊洲5-6-52 11階  
 ☎ 03-6204-2931  
 FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い  
 すべての取次への出荷が可能です。